

会議室で使用するノートパソコンの電源として充電ステーションを利用

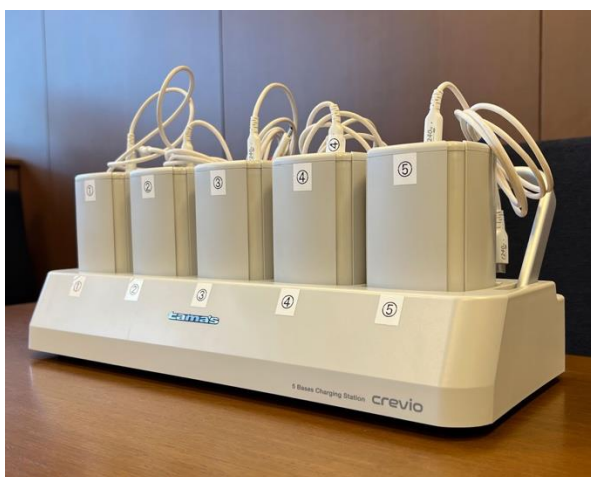
課題

- 会議や研修でノートパソコンのバッテリーが持たない
- 会議室の電源が遠い
- バッテリーの安全性の確保

解決策

充電ステーションの利用により、
会議や研修でのノートパソコンのバッテリー問題を解決

導入写真



株式会社竹内製作所は、1963年設立。長野県埴科郡坂城町に本社を置く建設機械メーカー。ミニショベルや油圧ショベル、クローラーローダーなどの開発・製造・販売を手がけ、グローバルに事業を展開しています。
連結従業員は約1,277名（2025年2月末）で、高品質な建機を世界市場に供給しています。
充電ステーションを会議室に持ち運び、充電の不安がないスムーズな会議の進行の為に、積極的に活用されています。

導入製品



crevio®

TLP125LFP-5S

- 安全・長寿命。リン酸鉄バッテリーを使用
- 最大6年間。安心の保証サポート
- ノートパソコン・タブレット対応。
高出力・大容量バッテリー（容量：18,000mAh）
- 置くだけでラクラク。「接点式」の充電ステーション



株式会社竹内製作所 本社入口にて
左より順に多摩電子工業 法人営業部 吉田、リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 長野支社 篠原様、
株式会社竹内製作所 情報システム部 情報システム課 課長 岡村様、 情報システム部 情報システム課 南澤様

1.導入前の課題

会議開催時、会議資料を紙で配布するのではなく、参加者はノートパソコンで資料を確認しています。
会議室で参加者全員の電源確保が困難だったため、モバイルバッテリーの導入を検討しました。



2.導入理由

リコージャパン様からのご紹介がきっかけです。
多摩電子工業は、コンシューマー向けのモバイルバッテリーを作っていることや知名度があり、安心感があったため選びました。
また価格が部門長の決裁範囲内で購入できる価格帯だったため、社内決裁や調整がスムーズに進みました。
特に反対意見はなく、便利だという意見が多いです。

3.導入後の効果

バッテリー残量を気にせずに会議ができるようになり、電源がない場所でも気兼ねなく打ち合わせができるようになりました。
利用者は重さを課題としつつも、大容量かつ安全なリン酸鉄バッテリーを評価しています。
また営業部門でもお客様貸し出し用として利用しており、便利さから他部門でも追加購入するほど好評です。

